

RPPC メールマガジン 第 849 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 11 月 18 日）

■事務局からのお知らせ

1)NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付しました。

2)令和 2 年度 リサイクルポートセミナー

日時：11 月 24 日（火） 14:00～17:00

会場：第一ホテル東京シーフォート・YouTube Live 配信併用

（専用アカウント発行）

令和 2 年度テーマ：「with コロナ・CO2 削減時代に リサイクルイノベーション」

14:00 開会

挨拶 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長

白井 正興 様

14:10 講演 I 「最近の港湾環境政策について」

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 港湾環境政策室長

白井 正興 様

14:40 （休憩・換気）

14:50 講演 II 「資源循環分野におけるデジタルトランスフォーメーション」

環境省 環境再生・資源循環局 総務課

リサイクル推進室 室長補佐 福井 陽一 様

15:20 （休憩・換気）

15:40 講演 III 「循環資源スラグを活用したカルシア改質土」

日本製鉄株式会社 スラグ事業・資源化推進部 スラグ営業室 主幹

（リサイクルポート推進協議会 循環資源利用促進部会長）

赤司 有三 様

16:10 （休憩・換気）

16:20 講演 IV 「『Post コロナ』の廃棄物・リサイクルビジネス」

一般社団法人 資源循環ネットワーク 代表理事

林 孝昌 様

16:50 閉会

※詳細は添付のプログラムをご確認ください。

■ ■ セミナーの申込は、下記 URL へアクセスし ↓ ↓ web にて必要事項の入力をお願い致します。

例年の申込み方法と異なります。申込み方法が判らない場合は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

<https://forms.gle/uuuCZrtPepFdCf8y7>

※web 参加 (YouTube Live 配信) の方には、お申し込み戴いたアドレスに後日セミナー専用アカウントと講演資料を発行致します。

■ リサイクルポートに関連する最新の情報

#### 1. 四日市港霞ヶ浦北ふ頭水深 14m 第 2 バース、来年度の新規要望へ準備

四日市港霞ヶ浦北ふ頭 81 号岸壁 (耐震) の来年度事業化への期待が強まっている。同ふ頭は今年度に国による事業化検証調査費が計上されて関連調査が進んでいるほか、四日市港管理組合も関連調査を進めるなど事業着手への準備を行っている。去る 10 月 19 日に開かれた令和 2 年度全国港湾知事協議会において鈴木英敬三重知事は、「霞ヶ浦北ふ頭 81 号岸壁の新規着工をお願いしたい」と述べるなど、同ふ頭の事業実施を国に要望した。

四日市港霞ヶ浦地区北ふ頭のコンテナ第 2 バースは、水深 14m 延長 330m (取付部 30m 含む) の耐震強化岸壁として計画している。背後のふ頭部分は埋立造成してコンテナ取扱い施設用地を確保する。

---

#### 2. 下関港新港水深 12m 岸壁の整備が進捗

九州地方整備局下関港湾事務所が事業中の新港地区の水深 12m 岸壁の築造工事が進捗している。同岸壁整備は合計 15 函のケーソンからなっており、これまでに施工済並びに契約ベースで 12 函までに進んでいる。来年度に 3 函のケーソン製作、築造を残すだけになってい

る。同岸壁は「官民連携による国際クルーズ拠点形成港湾」として、令和4年度の整備完了、5年春の運用開始が目標になっている。

下関港新港地区では、既設の岸壁延長240mでコンテナや一般貨物、クルーズ船を受け入れてきたが、同岸壁を300m延伸し国際クルーズ拠点として大型外航クルーズ船の受け入れを念頭に、必要施設を整備することになっている。

クルーズバースは既設バースの87mを取込む形で延長380mとして計画しており、新設300m区間についての岸壁築造工事を令和元年度から事業実施中。

---

### 3.水際・防災対策 重要港湾等で連絡会議設置へ

国土交通省港湾局は、港湾の水際・防災対策等に関する関係者間での情報共有、また非常時に関係者が即座に連携して対処できる体制を構築するため、全国の港湾ごとに「水際・防災対策連絡会議」を設置する方針。

同連絡会議は高潮・高波・暴風等の防災対策に加え、感染症の疑いのある外航貨物船の来航、またクルーズ船への対応、ヒアリ等に関する水際対策など幅広い情報を共有することを目指し、国、地方自治体、港湾関係団体、医療関係者などで組織する。

---

### 4.東扇島堀込部埋立 土砂投入を調整

川崎市港湾局は川崎港の東扇島堀込部土地造成事業で、開口部を除いた護岸を概成し、土砂投入に関する調整をJR東日本と進めている。

土地造成事業は埋立面積13・1㍓。堀込部の前面側に延長338㍓の護岸を設置して締切り、リニア中央新幹線の建設で発生する土砂約140万立方㍓を受入れる。

護岸はハイブリッドケーソン2函分に当たる開口部を除いて、3月に概成した。JR東海が土運船を開口部から埋立区域に入れ、土砂を直接投入するが、埋立開始時期についてはJRと調整している。

港湾空港タイムス 11月16日号から編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: [rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください